

REDRAGON



FIZZ



WIRED 60% 8K RAPID TRIGGER
MAGNETIC SWITCH KEYBOARD
WITH RGB BACKLIGHT

はじめにお読みください。

安全上の注意を必ず守っていただくよう、お願いします。

お客様や他の人への危害や財産への損害は未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただく内容を含んでおりますので、必ずご理解の上、守っていただくようお願いいたします。

警告

- 本製品を使用する場合は、ご使用のPCメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。
- 機器の分解、改造はしないでください。火災、感電の原因になります。
- 煙が出たり、異臭や異音がしたら、すぐに接続コードを抜いてください。
また、その他の製品の異常がありましたら、ご使用をやめ、速やかにサポートまでご連絡ください。
- 接続コードの上に物をのせたり、傷つけたり、折り曲げ、押し付け、加工などは火災や感電の原因になりますので行わないでください。
- 本体を濡らしたり、水気のある場所で使用しないでください。感電や火災、本製品の故障の原因となります。

注意

- 本製品を分解・修理・加工・改造しないでください。
- 本製品をぬれた手で触らないでください。
- お手入れの際には、ベンジンやシンナーなどの揮発性有機溶剤が含まれているものや、液体は使用しないでください。
- 乳幼児の口に入る小さな部品があります。乳幼児の手の届かない所に保管してください。
- 本製品を、直射日光に当たる場所、高温、多湿となる場所、ホコリや湯煙などの多い場所、強い磁場、電波、静電気の発生する場所での使用、保管をしないでください。
- 本製品は精密機器ですので、体の静電気を取り除いてからご使用ください。静電気を与えると誤動作や故障の原因になります。
- 本製品は精密機械ですので、ホコリ等には十分にご注意ください。誤動作や故障、データ損失の原因になります。
- 本製品に強い振動や衝撃、無理な力を与えたり、ピンなどの異物を差し込んだりしないでください。
- 本製品を不安定な場所に設置しないでください。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の被害については弊社は一切の責を負わないものとします。

【注意事項】

- パッケージおよびマニュアルの記載内容、製品および付属品は、改良その他により予告なく変更する場合がございますので予めご了承ください。
- 本製品の製品保証対象は「キーボード本体」「USBケーブル」のみとなり、その他の付属品に関しましては試供品となり、保証対象外となります。
- 社名及び製品名は各会社の商標または登録商標です。
- 弊社製品は一般コンシューマ向けに開発、製造しております。一般コンシューマ以外のビジネス、工場、インダストリアル等でのご使用は、製品保証対象外になります。

機能説明

●ご使用方法について

本製品はパソコンなどのキーボードに対応した USB ポートに接続するだけで使用できます。接続する機器の電源が切れている状態を確認して接続してください。ラピッドトリガーやマクロ機能などを使用しない場合は、ドライバーなどのソフトウェアのインストールは不要です。

●FN キーの動作について

一部のキーは FN キーを押しながら、特定のキーを押すことで、機能が切り替わります。



グループ①

| | | | | | | | |
|----------|-------|----|----|----|----|----|----|
| キートップ表記 | ESC | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| Fnキー押し動作 | 半角/全角 | F1 | F2 | F3 | F4 | F5 | F6 |

| | | | | | | |
|----------|----|----|----|-----|-----|-----|
| キートップ表記 | 7 | 8 | 9 | 0 | - | = |
| Fnキー押し動作 | F7 | F8 | F9 | F10 | F11 | F12 |

グループ②

| | | | | |
|----------|---|---|---|---|
| キートップ表記 | W | A | S | D |
| Fnキー押し動作 | ↑ | ← | ↓ | → |

グループ③

| | | | | | | |
|----------|--------|--------|------|-----|------|------|
| キートップ表記 | [|] | : | ` | . | / |
| Fnキー押し動作 | INSERT | DELETE | HOME | END | PGUP | PGDN |

●RGB イルミネーションバックライトについて

本製品は多彩なライティングに対応したキーボードバックライト機能を搭載しています。

FN キーと、それぞれのキーを組み合わせることで、発光パターンを調整できます。



| No. | キートップ表記 | FNキー押し動作 | 機能詳細 |
|-----|-------------------|----------|--------------------------------|
| ① | Alt | 発光パターン切替 | 14種類の発光パターンを選択できます。 |
| ② | , | 点灯スピード調整 | 5段階の点灯スピードを選択できます。 |
| ③ | M | 明るさ変更 | 消灯を含む5段階で明るさを選択できます。 |
| ④ | — (Space) | 消灯 | ライトを消灯します。 |
| ⑤ | ← (Back Space) | カラー変更モード | ライトの点灯色を選択できます。 |
| ⑥ | ESC | リセット | 5秒間押し続けることで設定がリセットされ工場出荷状態に戻る。 |

●カラー選択モードの操作方法について

FN キーを押しながら←(Back Space) を押すことで、バックライトの点灯色の選択モードになります。

選択モードになると全てのキーが消灯するので、変更するキーをキーを押してください。

キーを押す毎に、点灯色が変更されます。

FN キーを押しながら←(Back Space) を押すと設定が保存されます。

●Windows キー / メニューキー無効機能について

一部のゲームで意図しない動作をする場合がある Windows キーとメニューキーを一時的に無効にすることが出来ます。

※Windows キーのみやメニューキーのみなど、個々のキーのみを無効にすることはできません。

キーを無効にする場合は、Windows キーとメニューキー同時に無効になります。

キーを無効にする：FN キーと Windows キーを同時押しする。

キーを有効に戻す：再度、FN キーと Windows キーを同時押しする。



Windows キー

FN キー

メニューキー

キースイッチの交換

本製品はキースイッチが故障した場合、キースイッチの交換を行うことが出来ます。
※交換によって、「キーキャップ」に傷が付く場合がありますのでご注意ください。

- ①付属の「キートップリムーバー」を使用して、「キーキャップ」の左右を挟むようにしながら、「キーキャップ」を真上に引き抜き、取り外してください。
- ②「キーリムーバー」を使用して、「キースイッチ」を上下に挟みこむようにしながら、「キースイッチ」を真上に引き抜き、取り外してください。
- ③「キースイッチ」を外した場所に、「キースイッチ」の端子の方向を確認しながら、付属の取り換え用の「キースイッチ」をまっすぐ差し込んでください。
- ④外しておいた「キーキャップ」の方向を確認し、「キースイッチ」に取り付けてください。

※「キースイッチ」の交換による傷や故障は保証対象外となります。

※付属の「キースイッチ」「キートップリムーバー」「キーリムーバー」は試供品となり保証対象外となります。

※付属の「キースイッチ」以外は使用しないでください。

※付属の「キースイッチ」以外を使用したことに起因する故障は、保証対象外となります。

ソフトウェアの操作方法

専用ソフトウェアを使用すると、キーボードの設定を行うことができます。

●ソフトウェアのダウンロード

下記、URL から「K617GGB-RGB-M」用のソフトウェアをダウンロードしてください。

https://cdn.shopify.com/s/files/1/2695/9506/files/REDRAG-ON_K617_M.zip?v=1706769714

※本書で説明しているソフトウェアの画面、項目、動作は2024年8月現在のものであり、ソフトウェアの画面、項目、動作などは予告なく変更になる場合があります。

●設定方法

ソフトウェアインストール後の操作を簡単に説明します。
詳しくは各項目欄を確認してください。

(1) ラピッドトリガー

ソフトウェア起動後、「トリガ設定」のアイコンをクリックしてください。

画面上にキースイッチの線画が表示され、その中心に赤い点が表示されています。

赤い点は「アクチュエーションポイント」で、赤い点を動かすことにより、「アクチュエーションポイント」の深さを調節できます。

ラピッドトリガーを設定する場合は「クイックトリガ」にチェックを入れると設定できます。

(2) 高度なキー

「高度なキー」では以下のキーが設定できます。

DKS：1つのキーを1回押す、放すの動作で最大4回の入力が行えます。

MT：1つのキーを単押しする、長押しする、で別々のキー入力が行えます。

TGL：設定したキーを押して放すと、設定したキーが押され続ける認識をし、もう一度押して放すと解除されます。

「高度なキー」を設定する場合、ソフトウェア起動後に「高度なキー」のアイコンを

クリックし、メニューを表示させ、設定します。※設定方法は「高度なキー設定の欄を参照

設定後に、「キーカスタマイズ」を選択し、ソフトウェア上に表示されているキーボードの中

から設定するキーをマウスで選択すると赤く色が変わります。
「キーカスタマイズ」メニュー内から「高度なキー」を選択し、ドロップダウンリストから設定したイベントを選択し、「ダウンロード」を押すと記憶されます。

●ソフトウェアのメイン画面

ソフトウェアをダウンロードし、インストール後にソフトウェアを起動すると以下の画面が表示されます。



①設定

言語設定、自動起動、ファームウェアアップグレードチェック等が設定出来ます。

②キーボード

キーボードが表示されています。設定を行うキーをマウスで選択してください。

③リセット

本体の設定を初期値に戻します。

④Profile

Profileを切替えます。

⑤キーカスタマイズ

キーに別のキーや機能を割り当てられます。

⑥トリガ設定

アクチュエーションポイントの設定やラビッドトリガーの設定を行えます。

⑦高度なキー

DSK、MT、TGLの設定が行えます。

「高度なキー」の項目で動作を設定し、「キーカスタマイズ」で各キーに割り当てます。

⑧ライトの設定

RGBイルミネーションバックライトの点灯色や点灯方法を設定出来ます。

⑨パフォーマンス構成

Winロックキーが有効になっている場合の動作を設定できます。

⑩マクログループ

マクロの設定が行えます。

「マクログループ」の項目で動作を設定し、「キーカスタマイズ」で各キーに割り当てます。

⑪設定画面

各項目を選択すると、この場所に詳細が表示されます。

●キーカスタマイズ

キーに別のキーや機能を割り当てられます。

「キーカスタマイズ」選択後に、画面上のキーボードから設定するキーを選択し、設定を割り当ててください。

※下記画面上では「キーカスタマイズ」選択後に「A」キーを選択しています。



①デフォルト

初期設定に戻せます。

②へんこうキー

別のキーに変更できます。

③高度なキー

「高度なキー」設定で設定したイベントを選択できます。

④結合キー

修飾キー（コンビネーションキー）と組み合わせたキーを設定できます。

⑤マクログループ

マクロの再生タイプ、再生回数、マクロの選択を設定できます。

⑥マウス

キーにマウスの動作を割り当てられます。

⑦テキスト

キーを押すと、テキストが入力されるように設定できます。

⑧無効化

キーを無効化できます。

⑨マルチメディア

キーにマルチメディアキーを設定できます。

⑩ショートカット

ショートカットキーを選択できます。

- ⑪ アプリケーションの選択
キーを押すとアプリケーションが起動するように設定できます。
実行ファイルがある場所を選択してください。
- ⑫ キーボードランプ
キーにバックライトの設定に使用するキーを設定できます。
- ⑬ キー構成
キーにキーロック機能を設定できます。
- ⑭ 機能ウインド
選択した項目の情報や設定項目が表示されます。
- ⑮ 選択キー
現在選択されているキーが表示されています。
表示はキーの初期値が表示されます。
- ⑯ FNキー操作時の動作
FNキーを押さない場合の動作とFNキーを押した場合の動作の切替えが出来ます。
「デフォルトレイヤー」はFNキーを押さない場合の動作
「FN層」はFNキーを押した場合の動作
- ⑰ ダウンロード
「ダウンロード」を押すと、設定をキーボードに書込みます。

●トリガ設定

キー毎にラピッドトリガーの設定が行えます。

「トリガ設定」選択後に、画面上のキーボードから設定するキーを選択し、設定をおこなってください。

※下記画面上では「トリガ設定」選択後に「A」キーを選択し、「クイックトリガ」と「押したときと放したときの感度」を選択しています。

※ソフトウェア上では、ラピッドトリガーを「クイックトリガ」と表記しています。

※設定が完了したら、「適用」を押してキーボードに設定を書き込んでください。



アクチュエーションポイント

- **アクチュエーションポイント**
赤い丸の位置を動かすと、アクチュエーションポイントの位置を設定できます。アクチュエーションポイントは0.1mm～4.0mmの間で設定できます。
- **クイックトリガ**
「クイックトリガ」にチェックを入れると、ラピッドトリガー機能が有効になります。「トリガ(トリガ)/リリース(リセット)」は0.1mmから2.0mmの間で設定でき、設定した距離をキーが動いたことをセンサーが感知すると、キーがON/OFFされます。
※ラピッドトリガー機能はアクチュエーションポイントを通り過ぎてから有効になります。
浅い深度で認識させたい場合は、アクチュエーションポイントの深度を浅く設定してください。
- **押したときと放したときの感度**
「押したときと放したときの感度」にチェックを入れると、スイッチがONになるトリガ(トリガ)の距離と、スイッチがOFFになるリリース(リセット)の距離を個別に変更できます。
- **キーキャリブレーションモード**
キーのキャリブレーションを行えます。「キーキャリブレーションモード」にチェックを入れた後にキャリブレーションを行うキーを画面上のキーボードから選択し、「キャリブレーションの開始」を押し、実物のキーボードキーを押してください。
- **フルキャリブレーションモード**
全てのキーのキャリブレーションを行えます。「キャリブレーションの開始」を押し、実物のキーボードキーを全て押してください。

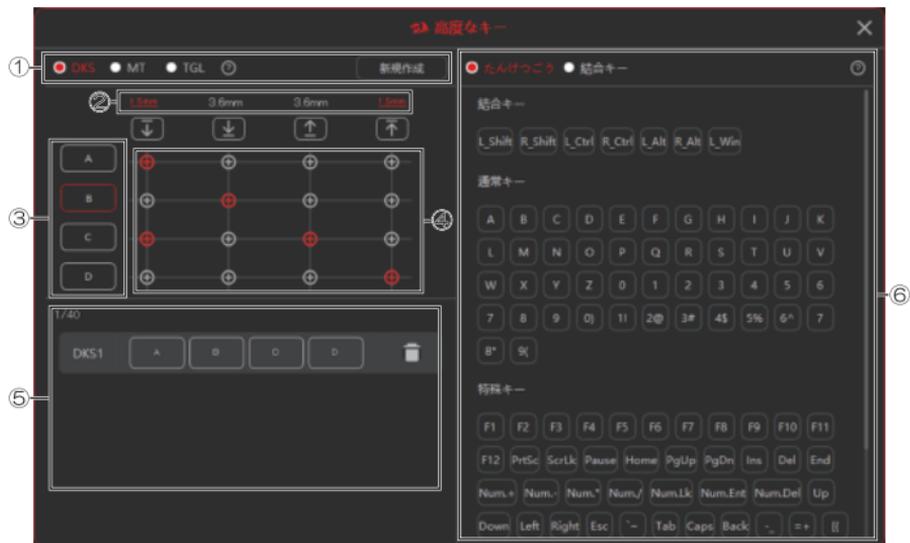
● 高度なキー設定

高度なキー設定を行うと、1つのキーで色々な動作をすることが出来ます。

(1) DKS

DKSを設定すると、1つのキーを1回押す、放すの動作で最大4回の入力が行えます。

※下記のメニュー画面では、キーを1.5mm押し込むと「A」と「C」が、3.6mm以下まで押し込むと「B」が、上昇すると「C」が、1.5mmまで上昇すると「D」が入力されるように設定されています。



① 新規作成

イベントの新規作成が行えます。

「DKS」にカーソルを合わせ、「新規作成」を押すと⑤に表示されます。

② DKS動作のトリガ点

DKS動作の浅いトリガ点を設定できます。下降と上昇のトリガ点は同じ設定になります。

③ 入力キー

入力キーを設定できます。選択すると枠が赤くなります。

右側の「キー選択」から、キーを選択してください。

④ 動作キー選択

③で設定したキーを、どのキー深度に設定するか選択出来ます。選択するとアイコンが赤くなります。

⑤ イベント

イベントの表示、選択、削除が行えます。

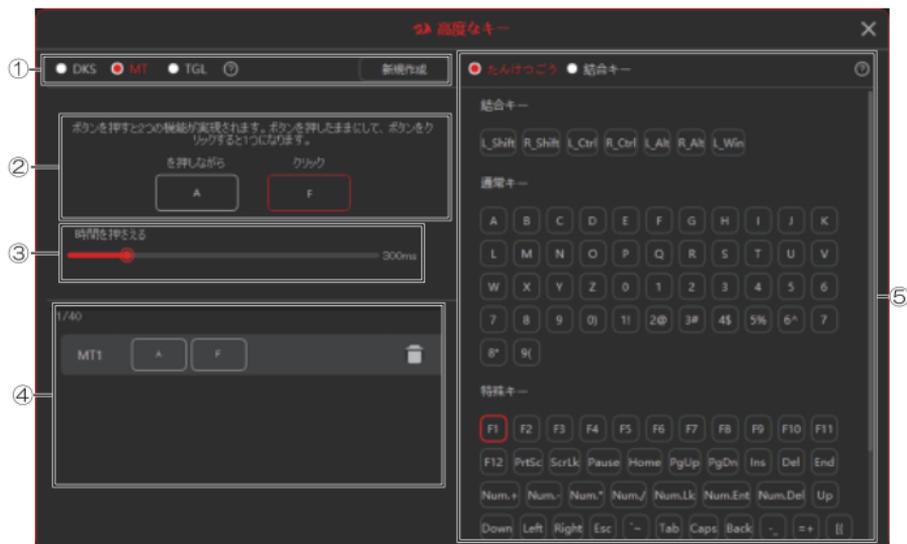
⑥ キー選択

キーの選択が行えます。通常キーの場合は「たんけつごう」、修飾キーと組み合わせる場合は「結合キー」を選択してから、キーを選択してください。

(2) MT

MTを設定すると、1つのキーを単押しする、長押しする、で別々のキー入力が行えます。

※下記のメニュー画面では、キーをを300ms(0.3秒)以上長押しすると「A」が入力され、それ以下の単押しでは「F」が入力されるように設定されています。



①新規作成

イベントの新規作成が行えます。

「MT」にカーソルを合わせ、「新規作成」を押すと④に表示されます。

②MT動作の設定

MT動作「を押しながら」（長押し）と「クリック」（単押し）の入力キーを設定できます。選択すると枠が赤くなります。右側の「キー選択」から、キーを選択してください。

③長押し時間

「を押しながら」の長押し時間を設定できます。

④イベント

イベントの表示、選択、削除が行えます。

⑤キー選択

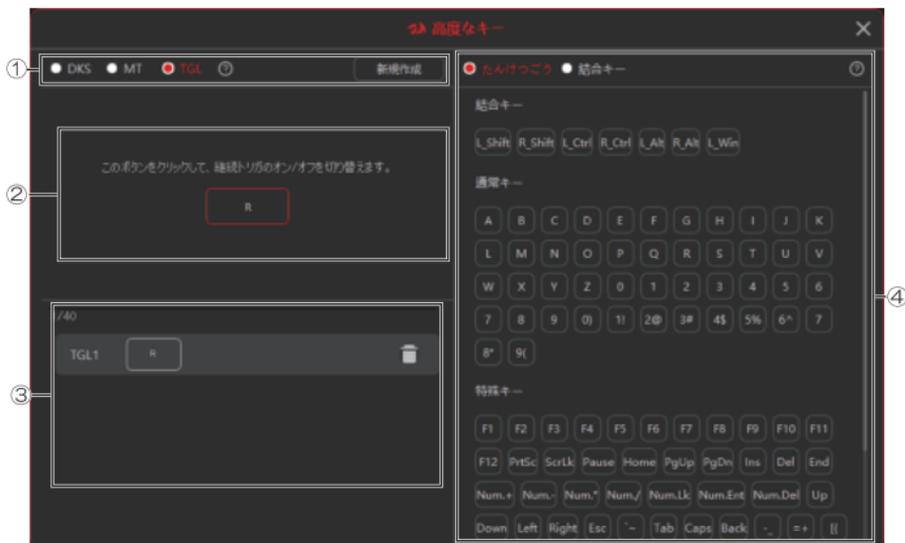
キーの選択が行えます。通常キーの場合は「たんけつごう」、修飾キーと組み合わせる場合は「結合キー」を選択してから、キーを選択してください。

(3) TGL

TGLを設定すると、キーの押しっぱなしが行えます。

設定したキーを押して放すと、設定したキーが押され続ける認識をし、もう一度押して放すと解除されます。

※下記のメニュー画面では、「R」を設定しています。



①新規作成

イベントの新規作成が行えます。

「TGL」にカーソルを合わせ、「新規作成」を押すと③に表示されます。

②TGL動作の設定

押され続けるキーを選択できます。

右側の「キー選択」から、キーを選択してください。

③イベント

イベントの表示、選択、削除が行えます。

④キー選択

キーの選択が行えます。通常キーの場合は「たんけつごう」、修飾キーと組み合わせる場合は「結合キー」を選択してから、キーを選択してください。

●ライトの設定

RGBイルミネーションバックライトの動作設定を行えます。



①タイプ

イルミネーションの種類が選択できます。

②輝度

イルミネーションの明るさが選択できます。

③速度

イルミネーションが動く速度を選択できます。

④方向

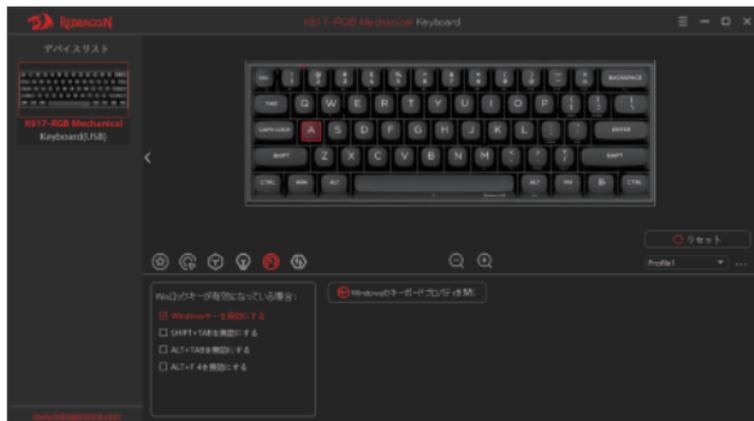
イルミネーションが動く方向を選択できます。

⑤カラー

イルミネーションの色を変更出来ます。

●パフォーマンス構成

Winロックキーが有効になっている場合の動作を設定できます。



- マクログループ
マクロの設定が行えます。



- ①マクログループ
マクログループの作成、保存、削除が設定できます。
- ②遅延設定
マクロ記録時の時間を設定できます。
「録画の遅延」を設定すると操作している時間を記録し、「遅延なし」を選択すると時間を記録しません。「デフォルトの遅延」を設定すると設定した時間で記録されます。
- ③録画開始
「録画開始」を押すとキーボード操作の記録が開始されます。
- ④ロギング
キーボード操作の記録が表示されます。
- ⑤イベントの挿入
「ロギング」に表示された記録に任意のキー操作を挿入できます。
「ロギング」で挿入する場所のキーを選び、「位置」で挿入位置を選択、「イベント」でキーの種類を選択し、「操作」で任意のキーを入力後、「挿入」を押してください。
- ⑥属性
「ロギング」に表示されたキーを変更できます。
「ロギング」から変更するキーを選択し、「遅延」で時間を選択、「イベント」でキーの種類を選択、「押したキー」に変更するキーを入力し、「変更」を押してください。

製品仕様

| | |
|--------------|------------------------------------|
| 型番 | K617GGB-RGB-MTI |
| インターフェース | キーボードに対応したUSB Aポート |
| キーボードタイプ | 英語レイアウトコンパクトキーボード |
| キー数 | 61キー |
| キータイプ | 磁気スイッチ |
| キーピッチ | 19mm |
| スイッチ特性 | リニア |
| キー荷重 | 約30g~60g |
| 入力位置 | 0.1mm~4mm |
| キーストローク | 約4mm |
| スイッチ耐久値 | 約5000万回（理論値） |
| 複数キー同時押し | Nキーロールオーバー |
| アンチゴースト | 対応 |
| Windowsキーロック | 対応 |
| バックライト | LEDバックライト |
| LEDバックライト色 | RGB |
| バックライト発光パターン | 15パターン（消灯含む） |
| ポーリングレート | 8000Hz |
| USBポート | パソコン接続ポート：USB Type-Cポート×1 |
| サイズ | 約幅292×奥103×高さ37mm |
| ケーブル長 | 約150cm |
| 本体重量 | 約535g（本体のみ、USBケーブル別） |
| 付属品 | USBケーブル、キートップ&キーリムーバー、 予備キースイッチ |
| 保証期間 | ご購入後6か月間 |

保証書

製品型番： K617GGB-RGB-MTI

保証期間： お買い上げ日 年 月 日 から 6 カ月

フリガナ

お客様名： 様

〒

住所：

電話番号： — — E-mail：

販売店名・住所・電話番号・（販売店印もしくは販売店レシート）



保証規約

この度は、弊社製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございました。

保証期間内にお客様の正常なご使用状態で万が一故障した場合には、本保証書記載の保証規定に従い、

修理を実施いたしますので、お買い求めの販売店様に本保証書を添えてお申し出ください。

保証期間内につきましては無料で修理いたします。尚、やむを得ず郵送を必要とされる場合には、

販売店様までの送料をご負担頂くようお願い申し上げます。

※本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

※本保証書は日本国内においてのみ有効となります。

保証期間内でも次の様な場合は有償修理となります。

- ・本保証書をご提示されない場合
- ・本保証書の所定の事項の未記入、字句を訂正されたもの及び販売店・社印または社名の未記入、販売店レシートのない場合
- ・火災、地震、水害、落雷、その他天災地変による故障及び損傷
- ・使用者側での輸送、移動時の落下など、お取り扱いが不適切なため生じた故障及び損傷
- ・説明書に記載の使用方法及び注意事項に反するお取り扱いによって生じた故障及び損傷
- ・改造またはご使用の責任に帰すると認められる故障及び損傷
- ・他の機器との接続が原因で本製品に生じた故障及び損傷

※本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の被害については弊社は一切の責を負わないものとします。

販売代理店：株式会社アイティプロテック

住所：千葉県柏市青葉台2丁目18-12

サポートお問合せ窓口

弊社ホームページよりお問い合わせください。

URL：<http://www.itprotech.jp/>